

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	一人ひとりに寄り添った介護や支援が出来るよう研修や話し合いの場を設けています。又、その人らしく暮らせるように環境整備にも力を入れています。スタッフには「理念」を書面で配布していますが、今後、定期的に理念の唱和を行いスタッフ全員が理念に沿ったケアが継続出来る様努めていきます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	開設（H18年3月15）時から、町内会に加入しています。コロナ禍の為、外出自粛が続いていますが、秋には近隣公園へドライブに出かけコスモスの花園を車中で眺める事などで季節を感じて頂いています。又、精神的不穏で買い物や熱望される方に対しては、マスク、手指消毒など安全面強化し、スタッフがマンツーマンで近隣の商店へ買い物支援なども実施するなど地域住民の一人として生きている事を実感して頂く機会を可能な範囲で設けています。このような活動から地域の方々にもホームの存在、利用者様へのご理解などが得られ暮らしやすい環境を整えています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	コロナ禍の為、事業所としての地域貢献が出来ていない状況の中、管理者が「認知症等見守りメイト養成講座」を受講し、地域の為に少しでもお手伝い出来ないかと取り組みを開始しているのが現状です。将来的には多くの職員、スタッフに受講する機会を設け、認知症に対する知識を深めたり、一人でも多くの人が地域貢献できる事を目指しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、コロナ禍の中、運営推進会議も感染予防の観点から、ホームでの集合開催を見送っていますが運営推進委員の方々には、月1回発行の施設便り「山田の里」等を用いて運営状況を報告行っています。又、書面上にて助言など電話連絡出来るようお願いしています。委員の方が時々、玄関先まで来ホームされる事もあり連携が取れています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	空床状況報告や各研修への積極的参加を行っています。又業務上疑問を感じたり、判断に迷った時など、行政に連絡しアドバイスを頂き、疑問の解消を図り、意思疎通を図れる様、取り組みを行っています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議にて身体拘束のホーム内勉強会をしたり、管理者は、外部（県社会福祉協議会）等の研修会に積極的に参加し、拘束が虐待に繋がる、基本的人権侵害に当たると言う認識を他のスタッフに伝え、拘束の3原則に反しない様取り組みを行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待、身体拘束などについて定期的に研修会を行い職員全員が知識を深めると共に日々のケアにおいて、あざ、内出血痕がないか、特に入浴・更衣時等、観察力を高め早期発見に取り組んでおります。管理者も、高齢者虐待等の研修等に参加し虐待が見過ごされない様、取り組んでいます		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、職員とも「権利擁護に関する制度」の必要性を感じており、外部研修、今後ホーム内でも取り組みを始め、制度の理解を全職員で図っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、プライバシーに配慮しながら、家族様に理解出来る様、読み上げ、単元毎、疑問点やわかりにくい所等、家族様のペースに合わせて説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様から、電話、来ホーム時、意見・要望があった場合、必要に応じてリーダー会議を開き検討や改善策を講じています。 直接、言えない家族様や外部の方々には、匿名で記入できるよう「意見箱」を玄関入口に設置し、より良い運営が出来る様取り組んでいます。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回開催される職員会議やフロア会などで職員が自由に意見を出し合い、良い意見は十分に検討し運営に盛り込んで行きます。言いづらい意見は、日時主任や副主任へ伝え再度、検討する時間を設ける等で全職員が運営に携わって行けるよう環境を整えています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社を中心にして、待遇面・福利厚生等の改善を行い、働きやすい環境作りに取り組んでいます。職員のストレスの軽減や体調面のフォローする為に有給消化に向けての取り組み、希望休などが取れやすい様、勤務体制を整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>現場職員のレベルアップに繋がる様、各個人の、力量等を総合的に判断し研修参加に取り組んでいます。勤務に支障をきたさないよう配慮しながら初任者研修、実務者研修受講を職員に勧め、現在3名が介護福祉士受験前の受講に励んでいます。介護福祉士受講（実務者研修含む）の際は、経済面支援（助成金支給）も行い職員育成に力を注いでいます。今後は、フオアアップ研修・介護技術動画などのネット研修を取り入れ職員の資質向上に取り組めます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍の中、交流という事自体、自粛していましたので、感染者数が落ち着いて、安心した気持ちで外部との交流が図れる様取り組んでいきたい。現在は、ネットにて他施設（グループホーム）の園内活動などを参考にして活動内容をアレンジして取り入れるなど工夫しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	調査の段階で得た情報を加味して本人さんが独居時期に[1番興味を持っていた事や物]に着目しその事柄に関連づけた内容の話しをする事で信頼関係を築いて行くように取り組んでいます。又、雑談しながら、不安な事や、思ってくれることが自然に話せる様な雰囲気作りにも留意します。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が落ち着いてゆっくり話しが出来る雰囲気作りを行い、ご家族様の「思い」や「不安」などを把握して行き信頼関係を築いていきます。更に今後、ご本人らしくホーム生活が営めるよう情報の共有を図ります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族様の意向・要望を聞き、本人様の状態、家族様が本人様にどのようにして暮らして行きたいか、どうありたいかを、一緒に考えております。園芸を趣味とされる場合は、ホーム裏畑を活用します。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と一緒に穏やかに、安心した気持ちで過ごせる様、ご本人様の意思を大切にし、ケアする立場ではなく、お互いに、居心地の良く生活してもらえ様、コミュニケーションを図ってます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人、ご家族様の想いによりそいながら介護、支援を行っています。又、ご本人様の日常生活送る中でご家族へ「電話をかけた」という訴えがある場合などは職員で電話を取り次ぎ精神安定やご家族との絆を深める支援も心がけています。機会あるごとに互いの良い面をお伝えし、本人さんとご家族様が良好な関係性が保てる様、支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍前は、親しい友人・知人が気軽に訪問し、楽しい時間が過ごせる様、又、電話等、本人の体調不良時以外、取次ぎを行い外出・外泊も家族様の都合にあわせて対応しておりました。現在のコロナ禍が以前の状態に戻った時は、前記のように取り組みます。現在は、事務所前にてガラス越しの面会が出来る様になってきました。ご家族以外の知人や友人などの面会も今後期待できます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	表情がさえない、口数が減った不満な感じが見て取れるような時は、寄り添う気持ちで話を傾聴し不安の解消に努める。又、座席の配置等、利用者様同士の関係性に配慮して、支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	暫くして、ご家族様の様子をお伺いさせていただき、お困りの事がないのか連絡を取り、ご家族様の想いを受け止め、相談毎に対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	まず、ご本人に此处でどの様に暮らしたいのか、暮らして行きたいのかをお聞きし、ご本人の気持ちに寄り添える事が大切だと思っています。聞き取りが困難な場合は、ご本人様の立場になって検討して行きます。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	お一人お一人様の生活歴等を大切に、居心地よく過ごしてもらえるよう生活環境を自然に馴染めるよう充分配慮しています。同郷の方がいましたらフロア席など隣席にして昔話しが出来るよう座席配置等、工夫しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人がどの様にここでの生活を送りたいのかを意向としてお聞きしスタッフと情報共有しながら、ご本人の残存機能に着目しながら、実施しています。ギター弾き語りを趣味とされる方には定期的にギターチューニングしています。弾き語り披露の機会（行事）も設けて生きがいに繋げられるよう支援します。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様を中心とした介護計画：ご本人さんの希望や思い、ご家族様の思いなどの聞き取り健康面からは、主治医からの医療情報提供などにより心身状態の把握に努め、全情報を基に本人さんの暮らしやすい生活を営む為に課題とケアのあり方を職員で話し合い作成しています。入院などにより見直しが必要な場合は、再度、ご本人、ご家族、主治医、関係機関に意見を聞きながら変更を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を大切にし、職員各自、気付き、状態の変化の記録を、記入し利用者の情報共有を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人にとってより良いサービスの提供という視点から、かかりつけ医、訪問看護、薬局、歯科、福祉用具、家族様等と連携を取りサービスの多機能化に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設周りの病院、地域包括、施設等を把握しご本人の暮らしの一助になればと把握を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様、ご家族様の意向をお聞きし要望に応えられる様、各かかりつけ医と相談しながら執り行っております。状態が変わって看取りになった場合、看取り対応出来るクリニックに引継ぎを行い継続したケアの構築を図っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、職場内には看護職員は在籍していませんが、訪問で来られる看護師等に、日中、夜間等の利用者様の心身の情報を伝え指示、アドバイスを頂いて必要時には医療連携にて病院受診などがスムーズに出来るよう訪問看護師から助言頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時、病院の相談員への連絡を密に取り、医療連携にてスムーズに入院治療開始出来るよう協働しています。入院中の治療内容や本人さんの入院状態、容態、病状説明、退院カンファレンスの日時調整など情報交換を密に行い、本人さんが入院生活で困り事が無いよう安心して治療ができるよう支援しています。家族様とも情報の共有を図り、早期の受け入れや治療後の退院が速やかにできるように出来る様、取り組んでおります。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けて、関係医療機関、家族様と情報の共有を図り、本人さんや家族様の想いを重視し、関係するスタッフ一同で情報共有し、事業所で出来る事柄の説明を事前に行い、ご理解得て終末期をチーム一丸となってケアしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	経験年数や実力、知識の深さ、実際体験した回数などが職員一人ひとり異なる為、今後は、定期的に応急手当、初期対応への訓練、研修など積極的に行って行き、すべての職員が急変や事故発生時に素早く適した初期対応や応急処置が実践できるよう取り組んで行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練（内1回は夜間想定）は実施しています。利用者さんが災害時、どこへ避難するか、避難場所の確保や避難経路を全職員が把握するよう取り組んでいます。又、避難時など二次災害（精神不穏、骨折他）が起きないように慌てず誘導がスムーズに出来る体制も整えています。地域との協力体制は、コロナ禍の為、現在は不十分な状態です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様には全員さん付でお名前を呼ばせて頂き、利用者様の意思を尊重し、納得してもらえる様、声掛け等、行っています。居室にてお話をお聞きしたり、トイレ介助時等、ドアを閉める、居室訪問時、フックにて訪室するなど心がけて介護、支援、介護しています。車いす（半介助要する）の方がスムーズにトイレ使用が出来るよう一ヶ所ドアを外しアコーディオンカーテン取り付ける事により本人さんが行きやすい場所のトイレ使用が可能になりました。アコーディオンカーテンを開閉する事でプライバシーの保護も可能になりました。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや希望を言いやすい雰囲気作り、馴染みの関係性を築き、気軽に自分の意見・思いが出せる様、取り組んでいます。方言にての談話を好む方には、職員が方言での会話で心の安定を図っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間もご本人様の体調、希望等に感じ対応しています。ご本人様が「居室で休みたい」「横になりたい」と訴えがありましたら食事時間を少しずらす等ご本人の意思を尊重し支援しています。食材に関しては、旬の野菜など使用し、季節感を出し食事が美味しく食べれるよう色彩的な面も考慮しながら食事提供しています。時間をかけながら飲食される方（要食時介助）には、職員がマンツーマンで介助行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご自分で衣類の選べない方に対しては、職員で季節に適した衣服を選び着脱介助行っています。ヘアブラシは部屋や車いす後部ポケットに準備し、いつでもブラッシングで整髪出来るよう介助、支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、違うメニューを提供し、食事形態もそれぞれ、利用者様の嚥下状態等を加味しながら、刻み、トロミ、ミキサー食を用意し対応しています。四季折々の食材を活用し食に対しての楽しみを持って頂いています。又、食事準備の出来る方には野菜の下処理、おぼんを拭く、テーブルを拭くなど職員と一緒に行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎食後確認し、摂取量が不足している場合、補助栄養食品を検討したりして各自の健康状態を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週火曜に訪問歯科に入ってもらい、口腔内の状態確認を行い、口腔内の清潔保持、トラブル防止を図っています。日常は、介護職員の方で介助が必要な方には口腔ケア全介助、コップや歯ブラシセットすればご自分で口腔ケアが出来る方には、セッティングの手伝いなどを行いそれぞれのADLに合わせて口腔ケアが全員出来るよう取り組んでいます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排便・排尿等、記録に入力し、各自の排泄パターン、習慣化の把握をスタッフで情報共有し、トイレでの排泄・自立に向けて、スタッフが定期的に声掛けなど行っています。トイレ内には、ご自分でズボンやリハビリパンツなどの上げ下ろしが出来る方はご自分で頂き、下げる事は出来るが上げる事が出来ない方には声かけしながらご自分で出来る範囲内まで頑張ってもらい介助が必要な時には半介助、介助しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響など理解できるよう研修会を行っています。又、薬剤情報提供書にて、薬の目的、副作用、用法、用量についてスタッフ各自確認・理解を得ています。便秘予防としての取り組みの一つとして、毎朝職員の手作りヨーグルトを提供しています。腸の活動を活発にする為の運動も（歩行、腹部マッサージ等）それぞれの利用者さんに合わせて行っています。便秘が続く時は主治医の指示の元処方された内服薬を服用して経過観察行います。錠剤が飲みにくい場合、トロミを付けるなど工夫しながら、服用出来る様、努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様と相談しながら、出来るだけ希望に添える様に、曜日、時間等、配慮しています。本人様から「今日は入浴したくない」と訴え等ありましたら、曜日変更や時間をずらす等、工夫しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペースで生活出来る様、なるべくご本人の意向にあわせて、配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報提供書にて、薬の目的、副作用、用法、用量についてスタッフ各自確認・理解を得ています。又、飲みにくい場合、トロミを付けるなど工夫しながら、服用出来る様、努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事、イベント、季節を感じて頂ける様、毎年、外出し季節の移ろいを感じてもらっています。コロナ禍の為、外出自粛が続いた時期は、職員が季節行事に手品や演奏など披露し「楽しい時間」の提供や利用者様とカラオケを楽しむなど色々創意工夫して利用者さんの気分転換の支援を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、施設の周りを負担の無い程度に、職員と一緒に散歩したり、施設前の駐車場にてテーブル、椅子を使用して、飲みものとお菓子を食べたり、皆で歌を歌ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持は家族様又は本人管理でお願いしていますが、数名の方々は、ホームにて金銭管理を行い、本人さん希望時に代理で購入し、本人さんへ届けています。精神面でどうしても買い物をしたくないと落ち着かない利用者様に対しては、マスク、手指消毒万全の体制にて職員が付き添いホーム前の「あけぼの店」で買い物支払いなどご自分でして頂き精神安定に繋げています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族、知人、友人等、電話の取次ぎを行い、利用者様から電話を掛けたいと申し出があれば事務所の電話にて連絡を取っています。通話可能な方は携帯の持ち込みは可能で、ご家族様と電話連絡が自由にできています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の変化を感じて頂ける様、季節毎に廊下の壁などを使用して壁面装飾を職員、利用者さん共同にて、明るい環境作りに取り組んでいます。テーブル上には、時折り花瓶を置き季節の花々を生けて自宅で暮らしているような雰囲気作りも行っています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>近くでテレビ視聴が出来るよう四人掛けソファを配置して、くつろげる空間を確保しています。中庭を設ける事で、フロア内に居心地の良い空間を提供しています。ローカにも、利用者さんが寛げるようソファを設置しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、今まで使われてた馴染みの家具等、持ち込み大丈夫ですと説明しています。出来るだけ、今まで生活で使われてたものを持ち込み使う様、取り計らってます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内の壁に手すりを付け、安全に手摺を使って移動出来る様、配慮してます。椅子も肘付椅子にて転落防止を図ってますトイレの場所がわからない利用者様の為に張り紙をしてトイレにスムザーに行ける様工夫してます		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない